

# 平成29年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月12日

上場会社名 TONE株式会社  
 コード番号 5967 URL <http://www.tonetool.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松村 昌造  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 井上 昌良

TEL 06-6649-5967

四半期報告書提出予定日 平成29年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成29年2月28日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	3,798	1.8	511	15.4	531	9.9	344	0.6
28年5月期第3四半期	3,731	8.2	603	31.5	589	10.7	346	16.3

(注) 包括利益 29年5月期第3四半期 422百万円 (59.3%) 28年5月期第3四半期 265百万円 (34.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	33.43	
28年5月期第3四半期	33.63	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第3四半期	6,293	4,300	68.3
28年5月期	6,192	4,001	64.6

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 4,300百万円 28年5月期 4,001百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期		5.00		7.00	12.00
29年5月期		5.00			
29年5月期(予想)				7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,770	5.0	1,030	4.7	1,030	9.0	600	7.0	58.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期3Q	11,713,000 株	28年5月期	11,713,000 株
期末自己株式数	29年5月期3Q	1,408,665 株	28年5月期	1,407,486 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期3Q	10,304,977 株	28年5月期3Q	10,307,135 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の一部に弱さが残るものの、企業収益や設備投資に持ち直しが見られ、雇用・所得環境の改善が続くなど緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、米国の経済政策の影響や中国の景気動向など世界経済の不確実性の高まりもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは「『ボルディング・ソリューション・カンパニー』として社会の発展に貢献し、地球上になくしてはならない企業をめざす。」ことを企業理念に掲げ、「ボルト締結分野」においてお客様が求める価値を的確に捉え、「スピード感と一体感のある製品開発体制」を基軸に保有技術を有効的に活用し、「締付」をキーワードとした幅広い製品群の開発・製造・販売を推進し、より多くのお客様に「ボルト締結」に最適な手段を提供してまいりました。

併せて、デザインを一新した「次世代工具シリーズ」の積極的販売、主力製品「シャーレンチ」製品群の販売強化に加え、充実のラインアップを誇る「ナットランナー」製品群の販路拡大、さらにお客様要望に応えた特殊品対応を行うことにより市場深耕・新規市場開拓を図るなど売上高の伸長に懸命な努力をいたしました。

さらに、「TONEブランド戦略」として、モータースポーツを応援することを通じて、より多くの人々に工具の魅力を伝えることを目的に、ライダーサポートやレース協賛などを積極的に展開するとともに、現場の声に耳を傾け研究・開発に活かすことで、製品およびサービスの更なる進化と飛躍を目指し、新たなTONEの可能性を追求してまいりました。

その結果、作業工具の売上高は、新製品群の投入効果や設備投資の増加などを背景に、20億9千5百万円となりました。機器類の売上高は、建築土木関連における計画のずれ込みなどが影響し、17億2百万円となりました。

従いまして、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は37億9千8百万円（前年同期比1.8%増）となり、営業利益は5億1千1百万円（前年同期比15.4%減）、経常利益は5億3千1百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等合計を1億8千6百万円計上したことにより、3億4千4百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

各セグメントの概要は、次のとおりであります。

国内におきましては、作業工具類の売上に関しては、新製品群の積極的な販売を基軸に、購買意欲を高める拡販活動を展開し、機器類の売上に関しては、建築土木関連における数々の計画の遅れはありましたものの、売上伸長や新規市場開拓に懸命な努力をいたしました結果、売上高合計は30億1千5百万円（前年同期比7.2%増）となりました。その内訳は、西日本全体が15億8千4百万円（前年同期比8.3%増）、東日本全体が14億3千1百万円（前年同期比6.1%増）であり、ともに前年同期を上回りました。

海外におきましては、中国市場における売上の鈍化に加え、北米、東南アジア市場における売上の弱含みは解消されず、輸出合計は7億8千2百万円（前年同期比14.8%減）となり、前年同期を下回りました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

資産合計は62億9千3百万円となり前連結会計年度末に比べ1億円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の減少5千5百万円、受取手形及び売掛金の減少1億4千6百万円等がありましたが、商品及び製品の増加1億4千7百万円、投資有価証券の増加1億1千1百万円等によるものであります。

#### (負債)

負債合計は19億9千2百万円となり前連結会計年度末に比べ1億9千8百万円減少しました。この主な要因は、短期借入金の増加2億2千6百万円等がありましたが、未払法人税等の減少1億9千5百万円、賞与引当金の減少6千1百万円、長期借入金の減少1億3千8百万円等によるものであります。

#### (純資産)

純資産合計は43億円となり前連結会計年度末に比べ2億9千8百万円増加しました。この主な要因は、剰余金の配当による減少1億2千3百万円等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益3億4千4百万円、その他有価証券評価差額金の増加7千8百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況を踏まえ、平成28年7月13日発表の「平成28年5月決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	410,554	354,947
受取手形及び売掛金	1,200,782	1,054,734
商品及び製品	880,520	1,027,630
仕掛品	429,585	440,332
原材料及び貯蔵品	689,052	746,001
繰延税金資産	52,051	28,998
その他	55,358	39,876
貸倒引当金	△3,900	△3,440
流動資産合計	3,714,005	3,689,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	620,833	605,026
機械装置及び運搬具(純額)	111,610	134,599
工具、器具及び備品(純額)	28,253	23,421
土地	740,263	781,509
リース資産(純額)	31,863	23,550
建設仮勘定	13,888	17,099
有形固定資産合計	1,546,711	1,585,206
無形固定資産		
リース資産	15,787	8,930
その他	46,349	30,513
無形固定資産合計	62,136	39,443
投資その他の資産		
投資有価証券	580,621	691,791
その他	289,200	287,517
投資その他の資産合計	869,821	979,309
固定資産合計	2,478,669	2,603,959
資産合計	6,192,675	6,293,042
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	586,228	600,872
短期借入金	271,999	498,215
リース債務	21,355	13,438
未払法人税等	195,444	-
賞与引当金	105,455	44,083
役員賞与引当金	36,500	-
未払金	106,959	110,036
未払費用	50,439	33,329
その他	20,105	19,198
流動負債合計	1,394,487	1,319,174

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	431,692	292,703
長期未払金	40,279	50,600
リース債務	28,787	20,687
繰延税金負債	130,903	166,889
退職給付に係る負債	159,202	136,788
資産除去債務	3,780	3,780
その他	2,300	2,300
<b>固定負債合計</b>	<b>796,946</b>	<b>673,748</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,191,434</b>	<b>1,992,922</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	163,380	163,380
利益剰余金	3,376,871	3,597,779
自己株式	△370,861	△371,252
<b>株主資本合計</b>	<b>3,774,391</b>	<b>3,994,907</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>212,690</b>	<b>290,949</b>
為替換算調整勘定	14,160	14,261
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>226,850</b>	<b>305,211</b>
<b>純資産合計</b>	<b>4,001,241</b>	<b>4,300,119</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>6,192,675</b>	<b>6,293,042</b>



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	3,731,039	3,798,334
売上原価	2,199,535	2,291,118
売上総利益	1,531,504	1,507,215
販売費及び一般管理費	927,816	996,197
営業利益	603,687	511,018
営業外収益		
受取利息	52	47
受取配当金	17,044	19,633
投資有価証券売却益	7,999	-
その他	6,765	5,874
営業外収益合計	31,862	25,555
営業外費用		
支払利息	4,767	2,417
為替差損	40,226	2,866
その他	698	2
営業外費用合計	45,692	5,285
経常利益	589,858	531,287
税金等調整前四半期純利益	589,858	531,287
法人税、住民税及び事業税	195,473	160,656
法人税等調整額	47,784	26,125
法人税等合計	243,257	186,782
四半期純利益	346,601	344,505
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	346,601	344,505

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	346,601	344,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98,596	78,259
為替換算調整勘定	17,528	101
その他の包括利益合計	△81,067	78,360
四半期包括利益	265,533	422,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	265,533	422,866
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- ① 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,462,610	1,349,949	918,479	3,731,039	—	3,731,039
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	16,300	—	16,300	△16,300	—
計	1,462,610	1,366,249	918,479	3,747,339	△16,300	3,731,039
セグメント利益	224,137	145,627	240,543	610,308	△6,620	603,687

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- ② 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,584,216	1,431,699	782,418	3,798,334	—	3,798,334
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	47,832	—	47,832	△47,832	—
計	1,584,216	1,479,532	782,418	3,846,167	△47,832	3,798,334
セグメント利益	272,417	121,107	137,015	530,539	△19,521	511,018

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。